

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 2019年5月21日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690101243
法人名	社会福祉法人 厚德会
事業所名	グループホーム いこいの泉
所在地	鹿児島県鹿児島市泉町9番5号 (電話) 099 - 805 - 3590
自己評価作成日	2019年3月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	2019年4月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ・入居者が形にとらわれず自由きままに生活している。
- ・その人らしく生活している。
- ・できてできなくても、その方の思いを大事に、可能な限り計画し実現に向けて取り組んでいる。
- ・1回/1月臨床美術に取り組んでいる。
- ・毎月、ヒヤリ・ハットを基に事例検討会を行っている。(職員が入居者となり思いを知る為に立場を変え劇を行い、何をどうしたかったのか?本人の思いを知り、事故防止や身体拘束の予防に努めている。)
- ・月、1回抜き打ちで自主訓練を行っている。災害を意識している。防災ズキンも手作りである。連絡網もご家族とはLINEで送れるようにも工夫している
 - ・職員のスキルアップを図る為に自らケアを振り返り気づいたことを事例発表として取り組み入居者にとって居心地の良い環境作りを心掛けている。
- ・介護度が高くなっても五感に程よい刺激を受けながら生活出来るよう取り組んでいる。

- ・市役所や医療機関・デパートに近く、交通や生活に便利な市街地に立地している。ビルの2～3階に当事業所が開設されている。「街」での生活に馴染んでいる利用者も多く、職員は、入居前の一人ひとりの生活習慣等を大切にされた支援に努めている。
- ・協力医療機関に近く、定期受診や必要時の往診等、24時間の医療連携が密に行われており、本人・家族及び職員の安心となっている。
- ・管理者は、家族とメールやラインを利用して連絡を詳細に行い、行事を兼ねて運営推進会議を開催するなどの工夫をして、利用者の状況及び事業所の取り組みへの理解を得られるよう努め、家族と良好な関係を築くよう取り組んでいる。
- ・代表者や管理者の支援で職員は全員が介護福祉士を取得しており、外部研修受講の支援や勉強会を実施して職員のレベルアップに取り組んでいる。専任の調理担当の職員を配置し、職員の負担軽減を図ったり、個人的な事情への配慮を行う等、働きやすい職場環境作りに取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事あるごと（勉強会や事例検討会等）に地域の中で生活されているということ、生き甲斐尊厳のある生活とは何かを折に触れて共有につなげている。	理念を玄関及び和室に掲示し、勉強会等で確認している。モットーの中から毎月の目標を決めて、ミーティング時にケアを振り返り、理念の実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近隣とのつながりは限られているものの外出や行事等の声掛け参加して頂いたりし交流を行う様努めている。又、近隣の方と道ですれ違う時や、マンションの方にも挨拶して、交流の糸口にしている。	町内会に加入し、ボランティア受け入れやおはら祭等を見物している。公園でのホーム運動会には地域から声援や応援をもらっている。利用者の散歩時は挨拶を交わし、地域住民と親しく交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	運営推進会議を活用して理解を深めたり、季節ごとに地域版広報誌を作成・配布して働きかけている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自己評価を踏まえ、外部評価での助言を報告して、家族や第三者の意見を聴いて話し合って意見を参考にして改善に取り組んでいる。	2ヶ月に1回の運営推進会議を実施し、活動状況やケアの様子・ヒヤリハットを含めた事業所の報告を行い意見交換を実施し情報をサービスに活かしている。事業所の取り組みについての情報発信や理解を得る機会になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>長寿あんしん相談センターとの連携を図り運営推進会議の参加でホームの状況報告、他事業所の情報や今の地域での様子を教えて頂いている。</p>	<p>市の職員とは、窓口に出かけ相談したり介護相談員の受け入れを行い連携を図っている。市主催の研修会に参加している。地域包括支援センター職員とは、運営に関する諸問題や利用者の暮らしぶり・ケアの様子を伝えて、運営推進会議時の意見交換も行い協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束廃止推進委員が各ユニット2名ずつおり、身体拘束ばかりでなく、言葉遣いでの心の拘束、行動の抑制という点に気をつけている。1回/1ヶ月身体拘束廃止委員会からと言うことで共有し、1回/3ヶ月は身体拘束適正化委員会も行なっている。</p>	<p>指針があり、身体拘束適正化委員会を3ヶ月毎に、身体拘束廃止委員会を毎月実施し、外部研修受講もしている。身体拘束をしないケアについて振り返り、不適切な言葉遣い等を検討している。玄関の施錠はせず、外に出て行く利用者は一緒に散歩するように努め、利用者の自由な暮らしを支えている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>事例検討し利用者の思いを知ろうとする取り組みを行っている。ホームでの勉強会にも年に1回は取り入れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>難しい内容なので専門的に聴ける研修参加を心がけている。又、管理者にその都度話を聞いたりとしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居前に事前に来訪して頂き、説明している。大事な事項に関しては詳しくしているつもりです。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>要望・ご意見用紙に記入し、振り返りケアに反映させ、運営推進会議での意見等も参考に、運営に反映させて職員回覧を行っている。</p>	<p>運営推進会議や介護相談員との面談、家族と利用者の会話、職員と利用者・家族の会話等、様々な場で気付いたことを把握し、要望等はその都度反映させるようにしている。施設を「我が家」と望む利用者の意見を反映させ継続して住み続けられるよう全職員が努めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営に関する事を含めて、年1回自己評価を行い代表者との面談を設け最後に管理者が面談し、リーダー会で改善点を話し合い全体会にて職員全体に反映している。</p>	<p>管理者は日常の業務の中やミーティング時に、職員からの意見等を聞いており、代表者との個別面談も年1回実施している。意見や要望が素早く届くようなシステムができています。早出勤務を設けて職員の負担軽減を図る等、意見を反映させている。個別相談は、日常的に管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>面談時に来年の抱負をあげてもらい、実現できるように努力している。管理者は代表者に必要に応じて相談している。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>定期的にホーム内でも月に1回勉強会を行い、ホーム外研修も最低年1回は参加できるように（本人希望の研修参加）研修計画を立て参加しミーティングで報告して頂いている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>研修参加の場で個々のネットワーク作りをしている。お互い事業所同士の連携に反映できたらと考える。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	馴れるまでは馴染んでいらっしゃる方より係わる時間を多くし、皆の会話に入りやすいように職員が間に入ったりと時や場所の工夫をしている。また、職員間で情報の共有を図っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	何に対して困っているのか？先ず聴いてわかりやすく説明し、「いつでも連絡して下さい」と声かけ連絡しやすいようにしている。又、必要に応じて電話で報告している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	予約いっぱいであっても電話での説明・見学をして頂いている。状況によってはその方に合ったサービスを紹介したりしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	時に流されつつあることもあるが、「主体は入居者であること」を折りに触れ声掛け合い協働することを大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>本人を支えるのは先ずご家族であり、私達であること。ご家族とは面会時に限らず電話でも報告、相談しており、どのご家族とも信頼関係を深めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>今まで親しくしてきた方の来訪時に、こられた事を本人に伝えてお部屋に案内してお茶を出したり、ご家族には近況報告を行い、友人、知人の方には、尋ねられたらホームでの暮らしの状況をお伝えしている。</p>	<p>友人・知人の面会が多く、面会時には居室でお茶を飲みながら再訪問に繋げている。馴染みのデパートや美容室の利用・喫茶・外食等に出かけたり、家族との外食等、これまでの生活や関係を継続できるよう支援している。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>一人一人の性格、特性を知り誤解が生じない様、程よい距離を保ちつつ関係調整をしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>せっかく頂いたご縁と出会いなので大切にしている、相談の電話などくることもある。近隣、知人に紹介されて見学に来訪される方もある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の意志や思いを記録に残し、職員間で共有し思いを把握するように努めている。又、困難な場合は時間をつくりゆっくり話を聴いたりご家族とも話し合っている。	介護相談員との面談や利用者と一緒に話をする時間を取り、本人の思いや希望を把握するように努め、介護記録で職員の共有化を図っている。家族の面会時や手紙などから希望や要望を把握している。意志疎通が困難な場合は表情や反応等から推測して本人中心に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	教えて頂ける範囲で情報収集している。ご入居してからは本人からのエピソード記憶などを随時記録して共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各個人日によりけりなので、職員同志「今日は大丈夫かもね」「昨夜、不眠だったから厳しいかもね」等々と確認しつつ出来ることにつなげている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の記録は本人の思いを基に記録し職員同志、本人、家族の要望を取り入れている。又、要点をしばりカンファレンスへの不参加の方にも意見を出してもらい参考にし共有して計画立案している。	利用者及び家族の要望を基に、カンファレンスで検討し、介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、6ヶ月毎及び状況の変化等に応じて現状に合わせて介護計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	本人の思いがプランの何に合うか考えて記録ができるように工夫し、実践につなげている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	他方面から柔軟に物事考えられるように研修参加で多くの人とのコミュニケーションを図れるように工夫している。又、訪問系のサービス利用もしている。 (歯科・マッサージ)		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察、消防や、協力病院との連携体制もとれているので安心で、安全な公園やデパートも近いので豊かな暮らしを楽しむことができる。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームの協力病院に限らず他病院でも電話などで相談助言を頂いている。ご希望があれば以前からのかかりつけ医の継続も可能である。	契約時にかかりつけ医を確認し受診を支援している。協力医療機関の定期受診は職員が同行している。皮膚科・精神科・歯科の往診や訪問看護師の健康チェックもあり、複数医療機関と協力関係を密に結び、適切な医療が受けられるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力病院は歩いていける距離であり必要に応じて受診し、相談しやすい先生もいらして往診もして下さる。夜間緊急時も当直看護師が来訪し、日常の健康管理も訪看にて助言を頂き受診につなげている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入居者により主治医が異なるので相談員に間に入ってもらっている。ホームからの面会をした場合は電話で報告しご家族と3者一体になり取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時、介護度3を目安に家族には思いを聞いている。又、本人の状況に応じて早めに家族と協議し方向性を定め、職員にも報告し医療との連携を図っている。個々さまざまなので相談に応じるとしている。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について説明し、同意書ももらっている。選択肢の説明を含め家族の意向を確認している。家族の意向や協力体制等を考慮しながら、医療・職員と連携して支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアル化しているが全員がきちんとできるように必要に応じて事例検討会で緊急時の対応にも備えている。又、その都度職員間で話をする機会を設け、対応の仕方を話し合っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災・地震・風水害・津波・火山、それぞれマニュアルを作成し、火災をはじめ地震を想定し規定の年2回は必ず行い、適宜職員・入居者だけで自主訓練を行っている。</p>	<p>災害マニュアルをもとに年2回の避難訓練を昼夜想定で、消防署の立ち会いを得て実施している。年1回、運営推進会議を兼ねて実施し、近隣住民にも参加協力を呼びかけている。非常用の備蓄は水・缶詰・レトルト食品等の食料及び懐中電灯・防災頭巾・防災リュック・オムツ等を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として尊敬の念を持ち一人一人の人柄、誇りを大事にプライバシーを損ねないように心掛けている。声の大きさや言葉遣いに、疑問を感じたら会議で報告し討議している。	研修を実施し、馴れ合いの言葉使いや声の大きさ、威圧的にならないようにする等、誇りを損ねない言葉かけやわかり易い表現での声かけに気を付けている。トイレ誘導等でさりげないケアを心がけ、申し送り等は利用者に聞こえないように行い、プライバシーの確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	リハビリに行ったり入浴時やレクリエーション、お手伝いの時その都度本人の意思を確認してやっている。したくない方は、しない旨を意思表示してくれる		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日のその人のペースはある程度大切にしている。日によっては異なる日があるので毎日同じ様には出来ないが変化が大きくなる様にはしていきたい。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	髪型や洋服1つにしてもその方の好みがありその都度お聴きして、その日に着たい物を着て頂いている。足浴の時に爪切りをしたり気付いた時に耳かき等整容は努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューの説明、献立の相談に味見、切る音、においを感じて頂けるように五感に刺激を与えている。場合によって台所に入って頂き、味見をして頂いている。	献立は職員が作成し、個々に応じた食事形態で提供している。下ごしらえや味見を利用者と一緒に行き、食事も同じテーブルで摂っている。誕生日の好物・ケーキ・行事食・外食等で食事を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	お粥の方や必要に応じて刻んだり食器の工夫やその方にあった食台の高さの工夫をして食べやすいようにしている。本人の飲みやすい飲み物で水分を摂って頂いたりそれでも食べられない時は主治医に相談し補助食品を処方して頂き食事と組み合わせている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアは実行している。身体的低下もあり、1日を通して必ず1回は一人一人付き添ってお手伝いをしている。又、口腔衛生指導も受けて相談、助言を頂いている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意がしっかりある方はRHパンツから自分の下着に替えて、トイレでの排泄をしているが失敗につながらない様に十分な配慮は心掛けている。逆に身体的状況に応じてオムツの種類を検討をしている。	排泄チェック表で個々の排泄状況を把握し、動作や表情など小さな情報を共有し、日中はトイレでの排泄の自立を支援している。オムツからリハビリパンツに改善した例もある。夜間は、身体状況に応じてオムツやポータブルトイレを使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>薬ばかりに頼らずホーム手作りのヨーグルトを1日1回食べて適度な運動をして予防に取り組んでいる。主治医に相談したり、腹部マッサージ、温沈、補水等個々の状況に応じて対応している。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している</p>	<p>高齢化が進み、大義であったりして「入らない」と言われる方もいる。ご本人に、意思確認をして、入られる際は、ゆっくりと時間をかけて入浴して頂けるよう心掛けている。又、全身の皮膚の状態等、確認行なっている。</p>	<p>利用者の希望を聞き、湯温や入浴時間・体調や意向に合わせて心地よい入浴を支援している。午後の時間帯で毎日でも入浴できる。清拭や足浴も実施している。好みのシャンプーを使ったり、年1~2回は温泉に出かけている。入浴を拒む利用者には無理強いせず、声掛けの工夫をしながらタイミングを見て支援している。</p>	
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>和室ソファに横になったり、リビングでうたた寝していたりすれば、風邪ひかないように膝掛けを使用したり、自室で休むか声掛けを行っている。清潔なシーツで休んで頂けるように定期的に交換を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人ファイルに内服状況（副作用も記してある）を綴じていつでも見れるようにしている。居宅管理薬剤指導もあって相談しやすく助言も頂きやすい。職員の薬の理解に対して個人差がある為、理解に努めたい。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>お手伝いが得意な方がいたり、レクが好きな方もいらっしゃるなのでスタッフが「何をしたいか」意志確認してその方に合わせて一緒に行い楽しめるようにしている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>個人の要望に合わせて外食、買物・カットに行かされている、行けない時は本人に後日行きましょうと声掛けを行なっている。又、中々行けない方は、嗜好品をご家族が購入して下さったり、スタッフがご本人に聞いて購入してきて召し上がって頂くなどしている。遠方への外出はご家族様同伴も可能で、入居者、家族、職員も皆で楽しんでいる。</p>	<p>日常的に、利用者の体調や天気を配慮して車椅子の利用者も近所の散歩に出かけたり、近隣商店街の買い物にも出かけている。年間計画を立てて、初詣・花見・そうめん流し・遠足に出かけ、家族も同行することがある。家族との外食等もあり、ドライブなどできるだけ戸外に出かけるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個人での管理、小額待たれている方は支払いを行ってもらったり、預かり金から必要な金額渡して支払いも見守りの中で行って頂いている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>いつでも電話がきたり掛けたりしている。又、本人に届いた葉書はお渡ししている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>四季折々の空間作りをし、季節感を感じて頂けるように工夫している。又、不要な音（テレビの音、スリッパの音）は控え、室温・湿度にも気をつけている。</p>	<p>フロアは明るく、季節を感じられるよう四季に応じた工夫した飾り付けを行い、不快な音を控えたり、温度・湿度等を適度に調節して、利用者が快適に過ごせる環境作りに取り組んでいる。コタツやソファ・テレビ・神棚のある和室でも思い思いにくつろぎ、居心地良く過ごせるように工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室にソファがあり指定席のようになっている。お互い譲って頂き自由に座れる。会話が弾み笑い声が聞かれたり、会話をしたり、各々に声かけ合って楽しく過ごされている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご自分なりに片付け（整理・整頓）をされて居る。出来ない場合であっても共に行なっているご家族にも協力頂き、好みの物を置かれ本人が楽しめる部屋作りを行っている。</p>	<p>電動ベッドや洗面台・タンス・エアコンを居室に備えている。本人や家族の希望で仏壇や神棚を安置したり、テーブルやイス・チェストを置いたり、写真や時計・鏡・抱き枕等の身の回りの物を置き、化粧品や好みの洋服・バッグ等、すぐ取り出せるよう工夫し、安心して過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>その日の体調を考慮して、できること・できないことを見極めている。又、トイレ等もわかりやすく表示し、照明も程よい明るさを保ち環境を整えできやすい工夫をしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
		○	4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない